

## 令和元年度第1回あわらし郷土歴史資料館運営協議会会議録

日 時：令和元年5月17日（金）  
午後1時から  
場 所：市民文化研修センター  
研修室1

### （日程）

1. 郷土歴史資料館長 あいさつ
2. 委員長 あいさつ
3. 議 題
  - (1) 平成30年度あわらし郷土歴史資料館事業報告について
  - (2) 令和元年度あわらし郷土歴史資料館事業計画について
  - (3) その他

### （出席委員）

水野 和雄      吉田 純一      長谷川 裕子      宇都宮 高栄  
能美 進        荒木 秀子      寺井 玲子

### （事務局）

文化学習課長	岡田 晃昌
郷土歴史資料館館長	佐藤 雅美
郷土歴史資料館館長補佐	橋本 幸久
郷土歴史資料館学芸員	九千房英之
郷土歴史資料館	畑 衣利奈

### 【郷土歴史資料館長 挨拶】

### 【委員長 挨拶】

### 【議題】

- (1) 平成30年度あわらし郷土歴史資料館事業報告について  
(郷土歴史資料館学芸員が平成30年度事業報告について説明)

### 【質疑応答】

委員長：事務局の説明に対し、何かご意見、ご質問はありませんか？

委 員：入館者のチェックはどのようにして行われているのか。

事務局：受付で「正」の字をつけてカウントしている。

委員：入館者がどこから訪れているかの把握も受付で行っているのか。

事務局：受付では、時間ごとに男女別と子供、学生、大人のカテゴリーで振り分けチェックをしている。どこから訪れたかの入館者のチェックは受付で声かけを行って地域別表にシールを貼ってもらう。または自主的にシールを貼ってもらい確認している。

委員：展示内容などのアンケート用紙を設置してはどうか。

事務局：受付にある。お客様が自由に記入してもらえる所に移動しなければならないと考えている。

委員：展示内容など参考になる意見が出てくるかもしれない。

委員長：入館時にパンフレットは渡しているのか。

事務局：受付に置いてあるが、積極的に渡してはいない。

委員長：必ず渡した方がいい。パンフレットの中にどこから来たのかなどのアンケートを入れて置き、帰りに箱に入れられるようにしたらどうか。

委員長：秋季企画展が有料とあるが、他は無料なのか。

事務局：他はすべて無料になっている。秋季企画展はゾーンを分け、企画展に行く人のみ有料にした。常設展示は無料で行った。

委員長：特別展は有料が多いが、なぜ秋季企画展のみ有料なのか。

事務局：できるだけ無料で対応したいと考えているが、借用費用を踏まえて、一昨年観覧料を徴収できるように条例改正を行った。今年度以降も借用費用がかかる展示に対しては観覧料を徴収したい。

委員長：特別展は有料、企画展は無料という分け方をした方がいい。

事務局：特別展は図録を作成している。企画展では、予算的に難しいため、配布資料でとどめている。県立歴史博物館も同じ企画展でも観覧料が異なる場合があるので、それに準じた形を取っているというように考えていただきたい。

委員：借用費用のため観覧料を徴収するに関わらず、特別展は基本的に有料にする。その代わり図録を出すというようにすれば、区別がつくのではないか。

委員：特別展の図録は観覧者全員に図録を配布するのか。

事務局：図録は有料で販売している。観覧料が無料の平成29年度特別展多賀谷と平成28年度企画展龍澤寺で図録を出すというように館でコンセンサスが取れていなかった。展示への考え方を整備しながらやっていきたい。

委員：過去展示の配布資料をもらえないかと問合せがあった場合どうしているのか。

事務局：原則受けている。過去の配布資料をまとめたファイルを図書館の郷土コーナーで自由に閲覧できる。もしコピーされたいという場合は資料館で対応できる形となっている。

委員：資料館では閲覧できないのか。配布資料をまとめたファイルを資料館でも持っていた方がいいと思うが。

事務局：対応したい。

委員：このような問合せはあるのか。

事務局：個別の問合せが多く、企画展関連で対応できるものがあつた場合は、配布資料をプリントして渡した。

委員長：今まで館で行ってきた内容を紀要などにまとめておいた方がいいのではないか。質問があればそれに応じて紀要をプリントする。今後の資料館運営を考え、その当時に何をしたかみんなに周知し見てもらわないといけない。予算化する形で考えてほしい。

委員：資料館でこんなことを行ってきた、行っているという一覧表があつた方がいい。興味があれば、関連資料がほしいという形になる。

委員長：館藏品一覧表を作成した方がいい。他館から見てどのような資料を持っているかわかるので考えてほしい。

委員長：主な利用団体を見ると活性化していてとてもいいと感じる。

事務局：いただいた意見を参考に改善していきたい。

## (2) 令和元年度あわら市郷土歴史資料館事業計画について

(郷土歴史資料館学芸員が令和元年度あわら市郷土歴史資料館事業計画について説明)

委員長：事務局の説明に対し、何かご意見、ご質問はありませんか？

委員：地域にいても知らない文化財や見たことがない文化財があると思うので、今後も市内文化財展などの企画を続けて行ってほしい。

委員：イベントの講演会「金津祭の山車」はどのような話をするのか。山車に関する資料がほとんどない。

事務局：「金津祭と山車、鉾、屋台行事」というテーマで行う。歴史的な話しをするのではなく、他の民俗事例と比べてどういった位置づけにあるのかをお話しいただく予定である。

委員：我々としては、山車のルーツがどこなのかを知りたい。しかし、金津地区に山車の資料はない。そのため、調査を行った上で話しているのかと市民から聞かれるだろう。

事務局：県で山車行事に関する調査を行っているので、それらを含めた話になるかと思われる。

委員：市の県指定文化財になっているものを特別に紹介する企画を設けてはどうか。

委員長：市の指定文化財になったものは、1週間ほど公開したらどうか。今まで市の指定文化財に指定されたものも資料館で展示できるものは展示したらどうか。

事務局：それぞれ検討したい。

委員：資料館の収蔵庫スペースは十分か。資料整理は大変だが確保しているのか。

事務局：資料館を建設時に指定文化財を保存するための収蔵庫を整備した。特別収蔵庫のスペースは多少余裕がある。しかし、一般収蔵庫のスペースはほとんどない。

委員：整理しないといけない。整理すればスペースが少しは空くだろう。

委員長：年間のスケジュールはあるのか。

事務局：ホームページに掲載している。

委員長：一年間のスケジュールが一覧表になっているものがあるといい。

事務局：資料館で作成したものがある。あとでお渡しします。

委員：地籍名をリストアップした資料があるといい。

事務局：「横垣古墳」の報告書に旧芦原町の地番と小字名が入っている。旧金津町のものはない。3分の1程度は把握しているが、残りを調べた上で今後作成していきたい。

委員長：たたら分布図はあるのか。本にはなっていないのか。

事務局：平成30年度春季企画展の解説シートに掲載している。

事務局：事前にお知らせしたが、事業計画で常設展示の入替えを考えている。常設展示へ場所を移して実際に観ていただきながら、ご意見をお願いしたい。

## 2階常設展示へ移動

委員：舟津貝塚や金津奉行の展示品が少ない。

委員：ジオラマの宿場町が実際と異なる町なので、ジオラマの構成を改めて考え直してほしい。

委員：蓮如上人や金津奉行をもっとアピールした常設展示にしてほしい。

委員：動線を考えないといけない。どういうふうに行ったら、全部をスムーズ観覧できるか整理しないといけない。

委員：常設展示の南側のスペース（本陣飾り物の後ろ）が空いているので、展示利用したらいい。

事務局：パネル展示などいいかもしれない。

3階研修室1へ移動

事務局：ありがとうございました。すぐに取り掛かれるもの、予算的措置が必要なものは順次予算要求をしながら改善していきたい。ご意見が多数あった動線については、見る順番、順路を考えたい。展示内容や常設展南側のスペースの後ろをどうするか検討する。今回のことはまとめて、次回に報告したい。

委員長：それでは、第1回の議事を終了します。